

報道関係者各位

2013年4月4日
森ビル株式会社

180日間で「グローバル人材」になる！ 「石倉洋子のグローバル・ゼミナール」2013年6月開講！ ～世界で活躍する投資家やジャーナリストのほか、宇宙飛行士 向井千秋氏も登壇～

森ビル株式会社が運営する社会人向け教育機関「アカデミーヒルズ」（理事長 竹中 平蔵）は、2013年6月よりグローバル人材を目指すビジネスパーソンを支援する6ヶ月のプログラム「石倉洋子のグローバル・ゼミナール」を開講します。

グローバル人材に求められる「スキル」と「考え方」を学ぶ

当プログラムは、慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科教授である石倉洋子氏を講師に迎え、ビジネスパーソンがグローバル人材になるために今必要なことを学ぶ6ヶ月間のワークショップ型プログラムです。2010年に開始し、現在までに約100名が修了しています。

※修了者のコメントはP.3をご覧ください。

3期目となる今回は、カリキュラムの中に入門編を組み込み、「英文レポートの書き方」「英語でのディスカッションのやり方」「グローバルリーダーになるための考え方」なども学びます。また実践編では、各回「ジャーナリスト」「投資家」「宇宙飛行士」という異なる分野で活躍する3名のゲストを招き、世界的視野から課題を共有し、解決に向けて議論します。

当プログラムは、日本では学ぶ機会の少ないグローバルに活躍するために必要な「スキル」と「考え方」を学び、半年間で世界的な視野から問題を捉え解決することができる「グローバル人材」になることを目指します。



石倉洋子
（慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科 教授）

【石倉洋子のグローバル・アジェンダ・ゼミナール 実施概要】

- 期間 2013年6月～11月 全6回（3時間×6回）のセッション
- 定員 30名（書類選考あり）
- 応募資格 ① 世界を舞台に活躍したい方／世界的な視野を持ちたい方
② 英語でのセッションを理解でき、英語での議論に参加できる方
③ 事前に出される資料や課題に取り組める方
④ 満20歳以上の方
- 選考書類 エントリーシート（英文・顔写真添付）
- 受講料 210,000円（税込み）
- 会場 アカデミーヒルズ（東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー49階）
- 主催 森ビル株式会社 アカデミーヒルズ
- お申込 Webサイトにて受付 <http://www.academyhills.com> ※締切：2013年5月8日（水）

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 アカデミーヒルズ事業部 深町 友子
TEL：03-6406-6649 FAX：03-6406-9350 E-mail：academyhills-PR@mori.co.jp

【グローバル・ゼミナールの講師陣】

■メインファシリテーター

石倉洋子（慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授）

グローバル人材の第一人者。グローバル戦略、競争力、イノベーションが専門。バージニア大学大学院経営学修士（MBA）修了後、1985年ハーバード大学大学院にて日本人女性として初となる経営学博士（DBA）を取得。1985年からマッキンゼー社でマネジャー。2000年より一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授。2000年から世界経済フォーラムの年次総会（ダボス会議）に出席し、モデレーターを務めている。主な著書に「戦略シフト」（東洋経済新報社）、「日本の産業クラスター戦略」（共著、有斐閣）、「戦略経営論」（訳、東洋経済新報社）、「グローバルキャリア」（東洋経済新報社）、「世界級キャリアのつくり方」（東洋経済新報社）がある。

※石倉先生の開講に寄せてのメッセージはP.3をご参照ください。



■ゲスト講師



牧野 洋
フリーランスジャーナリスト／
翻訳家



谷家 衛
あすかアセットマネジメント株式会社
代表取締役



向井 千秋
宇宙航空研究開発機構
有人宇宙環境利用ミッション本部
宇宙医学研究センター長
／宇宙飛行士

【カリキュラム】 ※6回のセッションのほか、各自が課題設定し解決方法を提案する修了レポートを作成します。

1、入門編①

グローバル人材に求められるマインドセットとスキルについてのレクチャーとグループワークをスムーズにするワークショップを実施します。（6月）

2、入門編②

英文レポートの書き方と、英語でディスカッションをする上で必要なスキルを講義します。ここで身につけた基礎は、実践編で出される課題に活かします。（6月）

3、実践編①

ゲスト：牧野洋氏

「世界と日本のメディアを取り巻く状況」をテーマに、ジャーナリストの牧野氏が問題提起し、それを基にグループディスカッションを行います。（7月）

4、実践編②

ゲスト：谷家衛氏

「投資家から見た世界を変える人物」をテーマに、自身も投資を通じて世界を変える活動をされている谷家氏がお話し、グループディスカッションを行います。（9月）

5、実践編③

ゲスト：向井千秋氏

宇宙飛行士の向井氏を迎え、多国籍のクルーたちと危険と隣り合わせの中で協働する現場のお話や、宇宙医学の社会的意義を伺いし、グループで議論します。（10月）

6、総括

各自が作成した修了レポートをベースに、全員で議論します。考えをまとめ、様々な状況に柔軟に対応し、分かりやすく伝えるように発信することを目指します。（11月）

【当ゼミナールで学ぶグローバル人材になるために必要な要素】

1. 世界的な視野で考える力を身につける

事前に提示される資料を読み、講師が最前線で経験してきた現場の生の声をインプットすることで、その問題について深く理解するとともに、知識を深めていきます。

2. 英語で議論する力を身につける

国際会議の現場で様々な地域・国の参加者との議論を英語で取りまとめた石倉氏のファシリテートの下で、英語で考えるクセをつけ、英語で議論・発信する力をつけます。

3. 戦略的に提言する力を身につける

独りよがりな発言ではなく、相手にいかに理解してもらえるかを戦略的に考え、事実を引用しながら理論的に説明し、議論・発表する力を身につけます。

【グローバルゼミナールとは】

会社を辞めず、留学せず「グローバル人材」を目指す社会人のためのプログラム。「グローバル人材」における日本の第一人者、石倉洋子氏をメインファシリテーターに迎え、各チームそれぞれ世界の最前線で「グローバル・アジェンダ」に取り組む日本人をゲスト講師に迎え、海外での議論やプレゼンのルールを実践しながら学びます。2010年1月に開講し、延べ100名を超える受講者が参加しました。月に1回のセッションは全て英語で行い、高いレベルと密度を目指した課題提出が求められるなど、日本にいながら国際舞台の最前線を体験する短期集中プログラムです。

【石倉洋子氏 開講に寄せてメッセージ】

今日の世界はITによる各種の「境界」がなくなりオープン化する一方で、「断絶」が随所に現れてきています。特に日本では、近いはずなのに遠く感じられる世界との隔絶感、今の日本の「リーダー」世代と21世紀の世界を担う若い世代との間にあるライフ・スタイルや「前提」の大きなギャップなど、「断絶」には事欠きません。

しかし、歴史が示すように、混乱・混乱の時代には新しいアイデアやリーダーが登場し、大きく世界を変革する絶好の機会でもあります。皆さんは「それは例外的な人の話ではないか」と思われるかもしれませんが。実際「社会的な問題にあたるには、まず自分が〇〇であるべき」「△△をしてからでなければ、海外にいても(あるいは起業しても)意味がない」などと、「何か試してみよう!」とするパッションに水を差す人たちが多いのも事実です。

ITが普及し、3Dプリンタなどが登場して、誰でもその気になれば試せる、今までとは全く違った世界が開かれつつあります。つまり、沢山試してみる。そこから良いアイデアを見つけ出していく。このようなアプローチがこれからの時代には有効な手法なのです。

山積する世界の課題に圧倒されてひるむのではなく、まず状況を知り、考え、どのアイデアを誰と実行すれば解決できそうなのかを試せる場と仲間があれば良いのです。グローバル・ゼミナール(Global Agenda Seminar/GAS)は、誰でも意欲さえあれば試せる場です。そして、新しい限りない可能性の多い世界への一步を踏み出すドアを、「皆」であけてみようという試みです。世界の課題に触れたい、考えたい、いつかは自分自身が世界に飛躍したいと考えている皆さん、GASでまず一步を踏み出しましょう。「やらない理由」はいくらでも考えることができます。今まで新しいチャレンジをした人たちはたとえ何といわれても、まず一步を踏み出したからこそ、新しい世界が開かれたのです。貴方も世界の課題を自ら考える、解決するアイデアを多数考えて皆で練り上げていく。GASでの旅に参加しませんか?

石倉 洋子

【修了者の声】

家代岡 綾さん (30代/化学メーカー勤務)

石倉先生はグローバルなビジネス戦略を実現する第一線でお仕事をされてただけあって、GASでは戦略思考を用いて問題解決のアイデアを考える、それを英語で表現するという、そのまま実践で活かせる勉強をさせて頂いたと思います。

参加者も意識の高い方ばかりで、今でも読んだ本や、GAS修了後継続している勉強の話をしてお互いに励まし合ったりと、頻繁に交流しています。昨年末には各年の参加者の同窓会も発足し、各方面で活躍しているたくさんのプロフェッショナルな方たちとのネットワークが出来て、このゼミへの参加は人生の財産となりました。

岡部 一郎さん (40代/IT系企業勤務)

主張の根拠となる事実の調査に加えて、論点を絞りシンプルにすることが鍵になったと思います。石倉先生から与えられる場面設定に応じて、議論の進め方や強調するポイントをその場で柔軟に調整する必要もありました。また、日頃お付き合いのない職種・年代の方と議論をできたことも、私にとって大きな刺激でした。GAS修了後も、携帯電話や衣類の再処理工場をゼミ仲間と一緒に見学するなどして、リアルなお付き合いを引き続き楽しんでいます。

特定の技術や分野に個人として長けているだけでなく、メンバーの強みをうまく組み合わせてグループとして価値ある解やビジネスを提案できること、これが私のキャリア開発における次の目標です。

宇佐美 敬子さん (30代/製薬会社勤務)

参加してみても驚いたのが、石倉先生のコミットメントの高さです。先生の気概と無駄の無いコース構成に大いに触発され、グローバル社会でどう自分を活かしていきたいのか、考えるきっかけを掴みました。他の参加者も、自身が抱えている課題と向き合ってきたと解決しようとする姿勢を持っている方々ばかりで、コース終了後に具体的な行動を起こした方も多く、ずっと刺激を受け続けています。

私はといえば、自分のキャリア形成に積極的に関わるという姿勢が完全に身に付き、コース後に英語中心の職場へと転職、新たな鍛錬の日々を過ごしています。結果的には先生というロールモデルを得たことが一番の収穫だったと感じています。

江頭 史倫さん (30代/総合商社勤務)

GASに参加したいと思ったのは、より自分目線で、そして英語で、貧困問題や環境問題等を考えていく場に魅かれたからです。日々の仕事にも社会的な意義があることは分かっていたのですが、もっと今の自分の枠を超えて、これら課題を考えてみたいと思いました。ダボス会議にも頻繁に行かれる石倉先生の、まさに「世界級」の知識/経験/人脈と、それを根底から支える熱意に、強く感化される講義。世界の潮流に対して自分の意見を持たせ、それを発信させるスタイル。「実際に行動することが一番大事」というメッセージ。

講義を通じて素晴らしい仲間とも出会え、強く刺激を受けました。今後も自分を世界に向け「行動」させてくれるものと思っています。

【アカデミーヒルズ <http://www.academyhills.com>】

森ビルは「世界的文化都心の創造」をヴィジョンに、街づくりに「都市を創る(ハード面)」と「都市を育む(ソフト面)」の両面から取り組んでいます。「都市を育む」取り組みの一つとして、森ビルが運営するアカデミーヒルズ(理事長 竹中平蔵 慶應義塾大学教授)は“自律的に自立する個人の支援”をミッションに、「Roppongi BIZ」「アーテリジェントスクール」などを運営する「スクール事業」、会員制図書館を運営する「ライブラリー事業」、貸しホール・貸会議室を運営する「フォーラム事業」の3つの機能を軸に、都市生活者に対して「知的活動の場」と「教育の機会」を提供しております。